

## 日本新生児成育医学会 2023年度 第3回理事会 議事録

日時：2023年5月15日（月）18：00～20：30

形式：Web会議システム Zoom を利用

出席者：高橋尚人（理事長）、諫山哲哉、落合正行、影山 操、日下 隆、河野由美、佐藤義朗、東海林宏道、  
長 和俊、徳久琢也、中西秀彦、難波文彦、長谷川久弥、飛弾麻里子、廣間武彦、細野茂春、水野克己、  
森岡一朗、芳本誠司、和田和子（各理事）  
与田仁志（監事）、荒堀仁美、山田恭聖（各幹事）

欠席者：中村友彦（監事）、北東 功（幹事）

（敬称略）

議 事：

### 1. 理事長報告

#### 1) 通信理事会議決結果報告の件

議決を取ったものは4件、ご意見を募ったのが1件（本日第10号議案で審議する）、その他のお知らせなどは2件であった。

#### 2) 2023年度会計途中経過報告の件

10～3月分までの年会費は全会員2,534名中、名誉・功労会員135名を除く2,399名のうち、延べ1,859名（77.5%）（3月31日現在）より納入され、代議員費を合わせて24,080,000円の会費納入となった。その他の費目に関しては、予算から大きく外れることなく推移している。

#### 3) 文献許諾使用料の件

メテオ社の2023年1～3月の文献使用料は合計943円であった。5月31日付で3,119円（繰越～22/09：1,596円、22/10～22/12：580円、23/01～23/03：943円の合計）と2023年度文献許諾使用料12,000円と合わせて15,119円が支払われる予定である。また、3月に医学中央雑誌刊行会（医中誌 Web）より2022年許諾抄録使用料33,000円、学術著作権協会より2022年度授業目的公衆送信補償金分配金102,377円が入金された。

#### 4) 筑波大学から発表される論文への対応の件

3月末に筑波大学から保育器内のエタノール使用が児の血中エタノール濃度の上昇に影響している可能性を示す論文が発表される件について、今後の対応を話し合うため、論文の執筆者、関係学会（日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、本学会）、厚生労働省でオンラインの打ち合わせを行った。今後の対応については医療安全委員会の影山委員長に依頼した。

#### 5) 厚生労働省より「人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について」が発出された件

厚生労働省より「人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について」が発出され、学会ホームページにアップし、会員のメーリングリストに発信した。

#### 6) 内閣府より変更届提出指示の件

内閣府より本会が公益社団法人化されて以降、一度も役員の変更届が提出されていないと指摘があった。未届けの対象は中村理事長から早川理事長に変更になった時であり、遡って書類を提出した。

#### 7) 内閣府立入検査の立ち合いの件

2023年3月15日（水）、事務局へ内閣府の立入検査が入り、理事長として立ち会った。内閣府担当者から本会の活動について質疑応答があり対応した。規定について改善の指摘があり、今後、議事録は理事長と監事1名で記名・押印する。また新たに個人情報取扱規程、特別個人情報取扱規程の作成の必要があり、現在総務委員会が対応中である。

#### 8) パブリックコメント募集の依頼の件

「新生児から成人までに発症する特発性血栓症の診療ガイド（案）」「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン 2023（案）」「新生児慢性肺疾患の新たな病型分類案作成～厚生労働科学研究班分類（2023）～」の本学会員へのパブリックコメント募集の依頼があり、理事長決済で承認した。

9) 第65回学術集会 余剰金の財源移動の件

第65回学術集会で発生した余剰金の一部を大会長である長理事の施設へ寄附した。この度、長理事の異動に伴い、寄附金の残金を異動先施設へ移動したいと相談があった。担当税理士にも確認の上、寄附後の用途については学会の関知するところではなく、残金の移動について承認した。

10) 日本母乳の会より後援依頼の件

日本母乳の会より2023年8月開催の「第31回母乳育児シンポジウム」の名義後援依頼があった。例年後援しているため、今年も了承した。

11) 厚生労働省より第8次医療計画等に関する検討会の件

厚生労働省より、これまで早川前理事長が本会を代表して参加していた検討会において、周産期医療の体制構築に係る指針・指標例を更新した旨、連絡があった。内容確認の依頼があり、今後は高橋理事長が対応することとした。医療計画についての資料を学会ホームページの「お知らせ」に掲載した。

12) 日本小児感染症学会より「パリビズマブ新規適用疾患のためのパリビズマブ適正使用の手引き」作成委員会委員選出の件

日本小児感染症学会より「パリビズマブ新規適用疾患のためのパリビズマブ適正使用の手引き」作成委員の選出依頼があり、これまで本学会より参加していた長谷川久弥先生（東京女子医科大学附属足立医療センター）、吉崎加奈子先生（倉敷中央病院）、細井健一郎先生（杏林大学医学部付属病院）に引き続き参加してもらうこととした。

13) 『小児RSウイルス呼吸器感染症診療ガイドライン2021』著作権使用料の件

『小児RSウイルス呼吸器感染症診療ガイドライン2021』著作権使用料として株式会社協和企画より150,402円が5月に入金予定である。

森岡理事より、日本小児呼吸器学会との共同編集のガイドラインであり、本学会と折半で著作権使用料が支払われることが説明された。

14) Taiwan Society of Neonatology 招待講演報告の件

日下理事より Taiwan Society of Neonatology における講演の報告があった。

Taiwan Society of Neonatology から招待を受け、2023年3月12日（日）、台北國泰金融會議廳において、15th Annual Meeting of Taiwan Society of Neonatology の Special Lecture (3) で講演した。タイトルは「Neonatal Oxygen and Bilirubin Metabolism」とし、新生児の酸素とビリルビン代謝の特性を踏まえ、低酸素性虚血性脳症や高ビリルビン血症に関し、我々の研究結果を踏まえ最新の話題を講演した。他の講演にも参加し、台湾、韓国、日本の新生児学に関する協力体制や新知見に関し、論議を行った。

15) 日本小児科学会 分科会推薦総説の件

日本小児科学会より分科会推薦総説募集の案内があった。6月9日（金）を締切に募集している。

16) 第70回（2026年）学術集会大会長立候補の件

学術集会大会長の立候補を例年9月30日締切としているが、ここ最近、3年前でも会場確保が難しい状況となっている。今年度は7月31日（月）を立候補締切とし、遅くとも次回理事会で大会長を決定したい。

17) 理事長職務報告

通信理事会の発信、内閣府立入検査の対応、問合せ対応を行った。

## 2. 審議事項

第1号議案 第66回学術集会会計報告の件（長谷川理事）

学術集会の収支は0円であった。納税分195,800円が学会本体負担となる。課税対象事業についての納税は学会本体の決算に含め、決算後に一括して納税されることが報告され、賛成1/2以上で承認可決された。

第2号議案 学術集会アーカイブの件（長谷川理事）

前回の理事会で会員専用サイトに学術集会のアーカイブを作成することは承認可決された。その際、ホームページの改修の費用や講演時のスライドを含めた著作権の確認方法、データアップの時期、閲覧可能期間、今後の学術集会も同様に続けていくかについては継続審議となった。

ホームページの改修に関しては事務局より費用が発生しないことが報告された。著作権の確認方法については大会長が事前もしくは事後に承諾を得ることとした。

第66回学術集会の講演データについては、データアップの時期と閲覧可能期間を、学術集会終了6か月後から3年間とし、今後の学術集会もアーカイブにするかは大会長の判断に任せることが賛成1/2以上で承認可決された。

第3号議案 各施設実施の講演会データ公開の件（水野理事）

本学会ホームページの“代議員からのアイデアボックス”に各施設で実施されている講演会の動画を、施設から情報提供の申し出があれば、ライブラリー形式で保存して、会員が自由に視聴できるようにしてはどうか、と意見があった。

他学会でも同様のことが検討されており、著作権の問題やデータ容量の問題、個人情報保護に触れるような箇所がないかなど、実施するには細かい指針を作成する必要がある、と意見があがった。

今後、広報委員会のみならず教育委員会ほか、各委員会に協力依頼をする方向で継続審議となった。

第4号議案 学会ホームページ会員専用サイトへの報告フォーム作成の件（落合理事）

日本医師会が「薬理作用に基づく医薬品の適応外使用事例」の募集を随時行っている。薬事委員会で応募を検討するために、新生児医療で適応外薬がどれくらい使用されているかを調べるため、会員専用サイトに報告フォームを作成することについて賛成1/2以上で承認可決された。

第5号議案 「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」の学会誌掲載の件（東海林理事）

森岡理事より日本新生児育成医学会雑誌へ「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」の掲載依頼があり、学会誌編集委員会内でメール審議を行い、掲載の方向で進めることとなった。また、森岡理事より当ガイドラインはAMED研究班で作成したものであり、学会誌に掲載することで論文に引用されたり、診療の参考にしたりとメリットが大きいと判断したこと、疾患の特徴から本学会誌への掲載が適切であると判断したこと、エキスパートオピニオンを加えて書籍化する予定であり、著作権が学会に帰属しないことについて追加で説明があった。

本学会誌は会員専用サイトからのみ閲覧可能なことから、監修3学会のうち（第6号議案で審議）、本学会会員のみが閲覧できることは不平等ではないか、他のガイドラインと同様にホームページで公開できないか、といった意見があがり継続審議となった。当議案については森岡理事が研究班へ持ち帰り、公開方法について再度検討してもらう。

第6号議案 「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」の監修の件（森岡理事）

AMED研究班から「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」の監修学会として、日本小児神経学会、日本小児感染症学会、本学会の3学会に監修をお願いしたいとの要望があり、賛成1/2以上で承認可決された。

第7号議案 女性代議員定数を代議員最大数250名の25%（男188人、女62人）にする施策の件（河野理事）

女性代議員の定数を代議員の最大数である250名の25%にあたる62人にする施策について提案する。

①2024年の選挙公示までにクォータ制導入について周知をはかる。

②公示にあたり代議員数の地域別、年齢層別の現状数を掲げて、女性のいない地域や若年齢層の立候補を促す。

将来的に委員会委員も女性枠や地域枠を設けることを検討していることが報告され、上記2案を実施することについて賛成1/2以上で承認可決された。

**第8号議案** フォローアップ認定医制度システム会社契約の件（河野理事）

E-learning導入にあたり3社から見積をとり、内1社が適切と判断した。システム会社のサイトから会員登録をし、視聴する（無料）。公開は2023年11月からを予定しており、動画の公開期間（E-learning受講期間）は6か月を予定している。講義動画は2年での更新を検討している。

E-learningサイトの運用をシステム会社と契約すること、2023年11月の学術集会においてワークショップを開催し、周知することについて賛成1/2以上で承認可決された。

**第9号議案** 第67回学術集会におけるワークショップ参加者募集の件（飛弾理事）

前回の理事会で「WS参加者の旅費は学会本体負担、参加費については委員長から大会長に依頼する」ことが承認可決された。倫理委員会でWS参加者を学術集会会場地域だけでなく遠方からも募集したい、またWSの参加者募集案内を関連他学会や研究会にも案内したいという意見があがった。遠方からの参加者の選考については委員会に一任すること、関連他学会や研究会へ募集案内をすることが賛成1/2以上で承認可決された。

**第10号議案** 重症先天性心疾患スクリーニング検査共同提言の件（芳本理事）

通信理事会No.6で理事の意見を募った「パルスオキシメータを使用した重症先天性心疾患の出生後スクリーニング標準プロトコルの提案」を共同提言することについて、意見があったプロトコル案のレイアウトは修正済みであること、また共同提案に関しては、産婦人科クリニックの医師や助産師が所属する学会・医会と十分な調整と配慮を行いながら進めてきており、今後も慎重に行う予定であることが芳本理事より説明があった。プロトコル案について意見を募り、共同提言の案内をすることについて賛成1/2以上で承認可決された。

**第11号議案** 新生児シミュレーショントレーニング普及推進WGメンバーの件

理事のメーリングリストで依頼した「新生児シミュレーショントレーニング普及推進WGメンバー」の推薦について、11名の推薦があった。当初の予定人数を超えたが、11名全員をメンバーとすることについて賛成1/2以上で承認可決された。

諫山理事より、WGに関東以北の先生がいないので、適任者を推薦して欲しい旨、提言があった。

**第12号議案** 保育器内の早産児のアルコール曝露を調べた論文への対応における他学会への情報提供の件（高橋理事長）

通信理事会No.5で承認可決された、保育器内の早産児のアルコール曝露を調べた論文への対応を会員専用サイトに掲載するにあたり、日本小児科学会、日本新生児看護学会への対応（情報共有）について意見があがった。他学会へ情報共有することについて賛成1/2以上で承認可決された。共有方法については日本小児科学会へは飛弾理事が、日本新生児看護学会については高橋理事長がそれぞれ対応することとなった。

**第13号議案** 人乳由来栄養強化剤の早期承認に関する要望書提出の件（水野理事）

厚生労働省へ本学会単独で人乳由来栄養強化剤の早期承認に関する要望書を提出することについて、賛成1/2以上で承認可決された。

**3. 第67回学術集会（細野会長）**

2023年11月2日（木）～4日（土）、パシフィコ横浜

多くの委員会から企画の申し込みがあり、採択については1か月以内に回答する。海外招待講演は3～4名を予定、また厚生労働省の専門家の基調講演も予定している。

現時点では現地開催を想定しており、ライブ配信、オンデマンド配信、懇親会については検討中である。

#### 4. 第68回学術集会（中村会長・代 高橋理事長）

2024年11月8日（金）～10日（日）、ホテルブエナビスタ（長野県松本市）  
新生児看護学会：11月9日（土）～10日（日）

#### 5. 第69回学術集会（高橋会長）

2025年11月13日（木）～15日（土）、パシフィコ横浜  
5月末にコンベンション会社と打ち合わせ予定である。

#### 6. 各種委員会報告

##### 1. 感染対策予防接種委員会（森岡委員長）

1) 本学会から公表している「新型コロナウイルス感染症に対する出生後早期の新生児への対応について」は5類への移行を受け、今後の社会や医療の状況を見ながら検討を続けている。まとめ次第、理事会に諮る。

##### 2. 国際渉外委員会（難波委員長）

1) 2023年2月24日（金）に国際渉外委員会をZoomミーティングで開催した。

2) IPOKRaTES JAPANについて

開催時期：2025年10月16日（木）～18日（土）の2日または3日間

開催場所：埼玉医科大学かわごえクリニック（埼玉県川越市）

テーマ（案）：Prematurity-Related Morbidities in Neonates

講師（案）：Leif D. Nelin, Souvik Mitra, Kirsten Glaser, Ravi Mangal Patel,

Khorshid Mohammad, Matthew Rysavy, Susanna Fustolo-Gunnink

当初より少し規模を大きくして開催を予定している。

2023年4月28日（金）PASにてIPOKRaTES側と協議予定であり、2024年1月にバリ、広州で開催されるIPOKRaTESに難波委員長が参加する。

3) 日台韓 Joint Congressについて

2023年10月28日（土）に韓国で開催されるJoint Congressに佐藤理事を特別講演・演者として派遣することを決定した。Travel Award対象者は2023年8月までに決定する必要あり、現在候補者を選出中である。座長は、丸山委員に決定した。

4) 日本新生児成育医学会学術集会・委員会企画として以下を提案した。

形式：モーニングセミナー（国際渉外委員会企画）

テーマ：Meet the Professor

趣旨：朝食を食べながら海外から参加されている教授陣との交流を行う

座長：岩見委員、加藤委員、藤岡委員

##### 3. 広報委員会（水野委員長）

1) Twitterと学会ホームページでセミナー開催の案内をしている。

##### 4. 病気・ケアの解説作成WG（長谷部WG委員長・代 水野理事）

1) 広報委員会・教育委員会・医療の標準化委員会、用語委員会から数名ずつ委員を選出し、小委員会を立ち上げた。5月8日（月）に第1回会議を行い、今後の方向性について検討した。

##### 5. 薬事委員会（落合委員長）

1) 第67回学術集会で薬事委員会企画セミナーを開催予定である。

テーマ：新生児領域における医薬品開発と国際標準化に向けて（仮）

座長：中村秀文先生、落合理事

- 演 者：1. 新生児領域における医薬品開発とその課題（仮）  
 中村秀文先生（国立成育医療研究センター）
2. INCと連携した新生児医療の国際標準化（仮）  
 平野慎也先生（大阪母子医療センター）
3. 新生児医療における医師主導治験の現況（仮）  
 有馬 充先生（九州大学）
- 2) 日本医師会疑義解釈委員会より供給停止予定品目検討依頼があり、該当なしであった（04 疑 1132-36）。
6. 医療安全委員会（影山委員長）
- 1) JAMA Network openに2月25日（土）付で掲載された「保育器内の早産児のアルコール曝露を調べた」論文への対応について、通信理事会 No.5で審議し会員専用サイトへ掲載した。
- 2) 前理事会で審議した会員からの、FDAの「Do Not Use Infant Head Shaping Pillows to Prevent or Treat Any Medical Condition: FDA Safety Communication」に関する問い合わせについて、今後も引き続き本学会として注視していく、という現時点での考えを会員に回答した。
7. 学会誌編集委員会（東海林委員長）
- 1) アクセスの簡素化  
 会員へ発信する「日本新生児成育医学会雑誌 35 巻 1 号」電子版公開メール連絡に掲載の URL から会員専用サイトにログインすると、直接学会誌目次画面が見られるように変更した。
- 2) 本学会誌 35 巻 2 号（2023 年 6 月発刊）の特集企画決定  
 特集企画のテーマ、執筆者について報告した。
- 3) 継続検討事項  
 仁志田先生の特集については一旦見送る方向とし、学会誌の閲覧を会員専用ページに制限すべきか、代議員の職務である査読について定款に明記すべきかは、引き続き検討する。
8. 男女共同参画推進委員会（河野委員長）
- 1) 3月23日（木）に Zoom で委員会を開催した。次回代議員選挙では女性定数を代議員最大数 250 名の 25%（男 188 人、女 62 人）にする施策について再検討し、理事会で提示することとした。
9. 新生児成育フォローアップ認定医制度委員会（河野委員長）
- 1) E-learning 導入にあたり、3社から見積を取り、内1社が適切と判断した。公開は2023年11月を予定しており、毎年6か月間、講義動画を公開する。講義動画の変更時期や受講証の取得履歴の有効期間について検討した。
- 2) 第67回学術集会でフォローアップ認定医に関するワークショップを開催し、周知する。
- 3) 規程書、細則を作成し次回の理事会で上申する。
10. 教育委員会（中西委員長）
- 1) 第9回医学生・研修医向けNICU入門セミナー（オンライン開催）  
 日 時：2023年7月1日（土）13：00～18：00  
 参加費：学生と会員は無料、非会員は2,000円
- 2) 第26回教育セミナー（現地開催）  
 日 時：2023年8月19日（土）～21日（月）  
 会 場：プラザヴェルデ（静岡県沼津市）  
 宿 泊：東横 INN（I・II）に団体予約をし、各40名ずつ宿泊予約済。静岡県東部地域コンベンションビューローによる宿泊助成申請した。  
 ハンズオン講義に向けて、6社に趣意書を送付済。プログラム（講義、プロコンなどを予定）は現在作成中である。

- 3) 第4回 web セミナー  
プロジェクト N ～周産期医療の異論 徹底討論 No.2「この症例、抜管しないの! ? ～CLD 児の呼吸管理を考える 60分」  
日 時：6月26日(月) 18:00～  
「抜管する」「抜管しない」で、参加者と議論を展開する。
- 4) 第67回学術集会における教育委員会企画プログラム案  
2023年11月2日(木)～4日(土)の会期中、120分枠で申請した。  
座 長：杉浦崇浩委員、中西秀彦委員長  
企画案：プレゼン、スライド作成の指導、論文作成、講義最後にブラッシュアップ  
演者、具体的な講義内容については今後検討する。
11. 新生児シミュレーショントレーニング普及推進 WG (甘利 WG 委員長・代 中西理事)
  - 1) 新生児医療に関するシミュレーション基盤型の学習プログラムを整備し、シミュレーショントレーニングを通じて新生児医療者の育成や継続学習に寄与することを目的とする。教育委員会(主担当)と医療の標準化委員会の下部組織として活動する。  
設立時は中西秀彦理事、諫山哲哉理事が担当し、設立時委員として、WG 発起人の甘利昭一郎先生を WG 委員長、小澤悠里先生を WG 副委員長とする。
12. 慢性期 iNO 保険収載 WG (中西 WG 委員長)
  - 1) WG を通じてエビデンスの収集  
本邦 NICU 全体における CLD-PH を含めた慢性期 iNO 使用の実態アンケート調査を実施する。
    - ・主任研究担当者：宮田昌史委員
    - ・急性期以降(日齢7以降)の iNO 吸入症例の全国実態調査のためのアンケート項目を検討中
    - ・Red Cap でアンケート結果回収予定
    - ・藤田保健衛生大学を主幹として、倫理委員会申請中
    - ・新生児医療連絡会、NRNJ 加入施設等に調査を依頼予定
  - 2) スコーピングレビューによる急性期以降 iNO 使用のエビデンス収集  
CLD-PH の診断・適応基準をある程度明確にするために、CLD-PH 関連の文献検索を通じて、診断に必要な心臓超音波検査パラメータおよび臨床パラメータを抽出し、診断基準の標準化を目指す。
    - ・主任研究担当者：加藤 晋委員
    - ・アドバイザー：鈴木大地先生(神奈川工科大学健康医療科学部看護学科公衆衛生看護学)
    - ・研究協力者：岩谷壮太先生(兵庫県立こども病院)  
中嶋敏紀先生(小倉医療センター)  
細川未来先生(日本赤十字社医療センター)  
南谷曜平先生(埼玉医科大学総合医療センター)上記2つのプロジェクトを同時に進め、得られた結果をもとに、PMDA と保険適応に向け必要となる治験、エビデンスの構築について議論する予定。
13. 倫理委員会(飛弾委員長)
  - 1) 第67回学術集会の委員会企画の準備を進めている。多職種参加型ワークショップ(日本新生児看護学会との共同企画)、教育講演。
14. 社会保険委員会(佐藤委員長)
  - 1) 令和6年度診療報酬改定に向けて、新生児が関係する3学会、および日本新生児看護学会と合同で最終提案書を作成し、内保連に提出した。
    - ①日本新生児成育医学会から

- アルブミン非結合型ビリルビン、重症新生児対応体制強化加算、ハイリスク児成育支援料
- ②日本周産期・新生児医学会から
  - サイトメガロウイルス核酸定量、母乳栄養管理加算
- ③日本小児科学会から
  - 新生児発達支援充実加算、新生児早期静脈栄養管理加算
 今後、内保連、厚生労働省のヒアリングに向けて、調査やエビデンスの整理を行っていく予定である。
- 2) 第67回学術集会で新生児看護学会と共同で診療報酬改定に関するシンポジウムを企画中である。
- 15. 診療委員会（芳本委員長）
  - 1) パルスオキシメータを使用した重症先天性心疾患の出生後スクリーニング提案について、本委員会が作成した提言案を、関連学会へ内容の確認および共同提言の打診を行うことを理事会に諮る。
- 16. 医療の標準化委員会（諫山委員長）
  - 1) 新生児医療の科学的根拠に基づく診療ガイドライン作成グループ（JEBNeo）の活動報告（2023年1月26日（木）～5月15日（月））
    - ①3月18日（土）にCLDガイドラインの推奨決定デルフィー会議を行い、10個の推奨案が決定した。今後、パブリックコメントに進む予定である。
    - ②完成したガイドラインは、推奨のまとめと10個のWorksheetからなる予定で、学会ホームページで公開予定である。
  - 2) 広報委員会・教育委員会・用語委員会・本委員会からなる「病気・ケアの解説作成WG」の活動を開始した。本委員会推薦で荒堀仁美、岩見裕子、友滝清一（各委員）、福井加奈（委員外）が参加した。  
(敬称略)
  - 3) 教育委員会・本委員会共同の「新生児シミュレーショントレーニング普及推進WG設立起案書」が通信理事会で承認された。
- 17. 医療の質向上委員会（長委員長）
  - 1) 本委員会のフォローアップ研究事業として支援された、令和3・4年度成育疾患克服等次世代成育基盤研究事業「低出生体重児の成長・発達評価手法の確立のための研究：低出生体重児の乳幼児期の発育調査」により、低出生体重児の発育曲線を作成した。パーセントイル発育曲線は、健やか親子21のサイトに掲載され、本学会ホームページにリンクをはった。また、自治体、関連学会（本学会も含め）にはこども家庭庁母子保健課から通知が発出された。
  - 2) 令和5～7年 こども家庭科学研究費成育疾患克服等次世代成育基盤研究事業「低出生体重児の中長期的な心身の健康リスクの解明とフォローアップ・支援体制の構築に向けた研究」についても、前研究と同様に本委員会のフォローアップ研究事業として支援・協力を依頼する。
- 18. 学術委員会（長谷川委員長）
  - 1) 2023年度佐多フェローシップキングスカレッジ・プログラム留学助成は選考の結果、難波理事より推薦があった南谷曜平先生（埼玉医科大学総合医療センター）に決定した。
  - 2) 2022年度学術奨励賞受賞論文および受賞者は、選考の結果、森岡理事より推薦があった長野伸彦先生（日本大学小児科学系小児科学分野）に決定した。  
追って、学会論文賞を選考する。
- 19. 総務委員会（和田委員長）
  - 1) 内閣府からの指摘があり、現在個人情報保護規約を作成中である。
- 20. 利益相反委員会（廣間委員長）
 

特になし
- 21. 災害対策委員会（徳久委員長）



2023年10月15日

特になし

22. 調査研究審査委員会（飛弾委員長）

特になし

23. 産科医療補償制度委員会（細野委員長）

特になし

24. 用語委員会（細野委員長）

特になし

25. 学会将来構想委員会（日下委員長）

特になし

26. 英文誌 WG（森岡 WG 長）

特になし

## 7. その他

- 1) 高橋理事長より第4回理事会を8月に開催する予定であり、追って事務局から日程調整の連絡があることが報告された。
- 2) 事務局より医師以外の入会があったことが報告された。